



RECOMM

レカム株式会社
JASDAQ (3323)
2016年8月10日

2016年9月期

第3四半期

決算説明資料



2016年9月期 第3四半期実績

グループ^o連結

業績トピックス

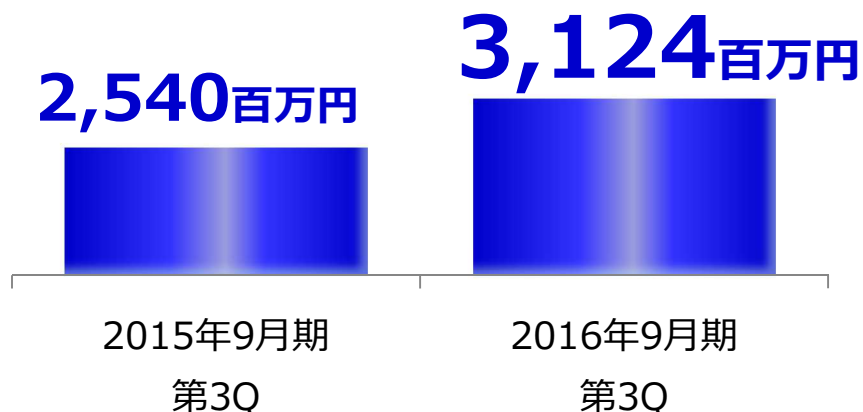
■ 9期ぶりに大幅増収

： 情報通信事業では、デジタル複合機の売上高が増加。またRet'sひかりのストック収益が拡大。BPO事業では既存顧客の売上の積上げにより増収

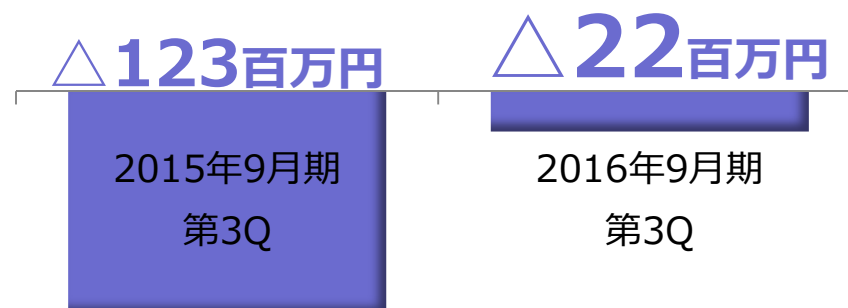
■ 利益は赤字ながらも大幅に改善

： 情報通信事業は営業利益が改善、BPO事業は黒字転換

連結売上高



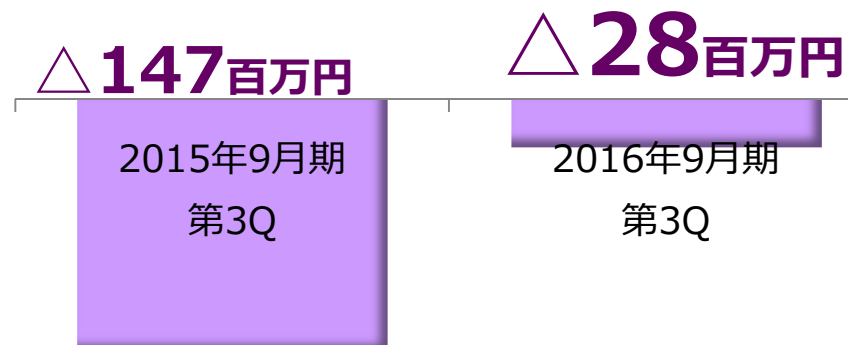
連結営業利益



連結経常利益



連結当期純利益



連結売上高

対前年同期比 123.0%

9期ぶりの増収

情報通信事業、BPO事業ともに伸長

- 情報通信事業は増収（対前年同期比123.7%）
- BPO事業も増収（対前年同期比112.3%）
※連結調整前の比較

連結経常利益

対前年同期比 +110百万円

- 増収に伴う連結営業利益の大幅改善により、
連結経常利益も改善

連結営業利益

対前年同期比 +101百万円

- 情報通信事業の営業利益が大幅改善
（対前年同期比+89百万円）
- BPO事業は営業利益が黒字転換
（対前年同期比+16百万円）
- 大連センターは過去最高益を更新する見込みで推移

連結当期純利益

対前年同期比 +119百万円

- 増収に伴う連結営業利益の大幅改善により、連結
当期純利益も改善

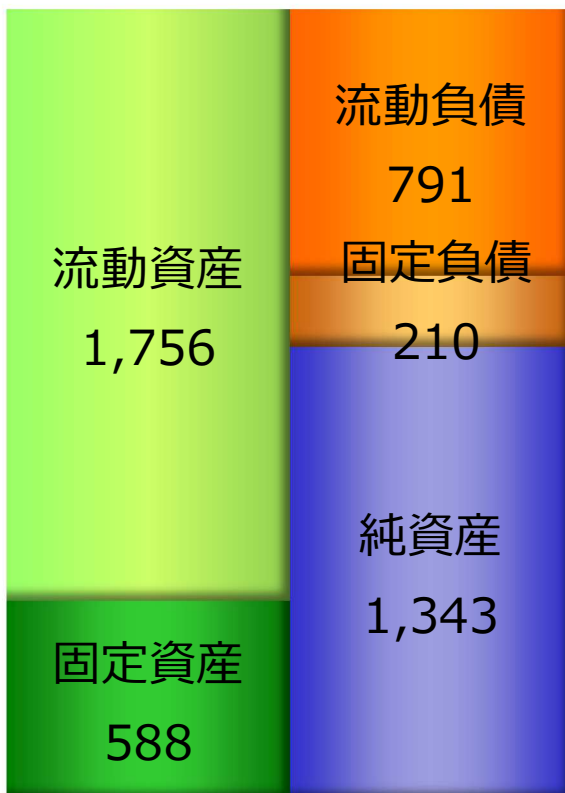


連結貸借対照表

2015年9月期
期末

2016年9月期
第3Q末

(単位：百万円)



【資産】

2,099百万円 ⇒ 2,344百万円

- 新株式及び新株予約権の払込 (453百万円)等により現預金が増加
- 売掛金が110百万円減少

【負債】

1,161百万円 ⇒ 1,001百万円

- 買掛金の減少 (△11百万円)
- 借入金の弁済 (△60百万円) など

【純資産】

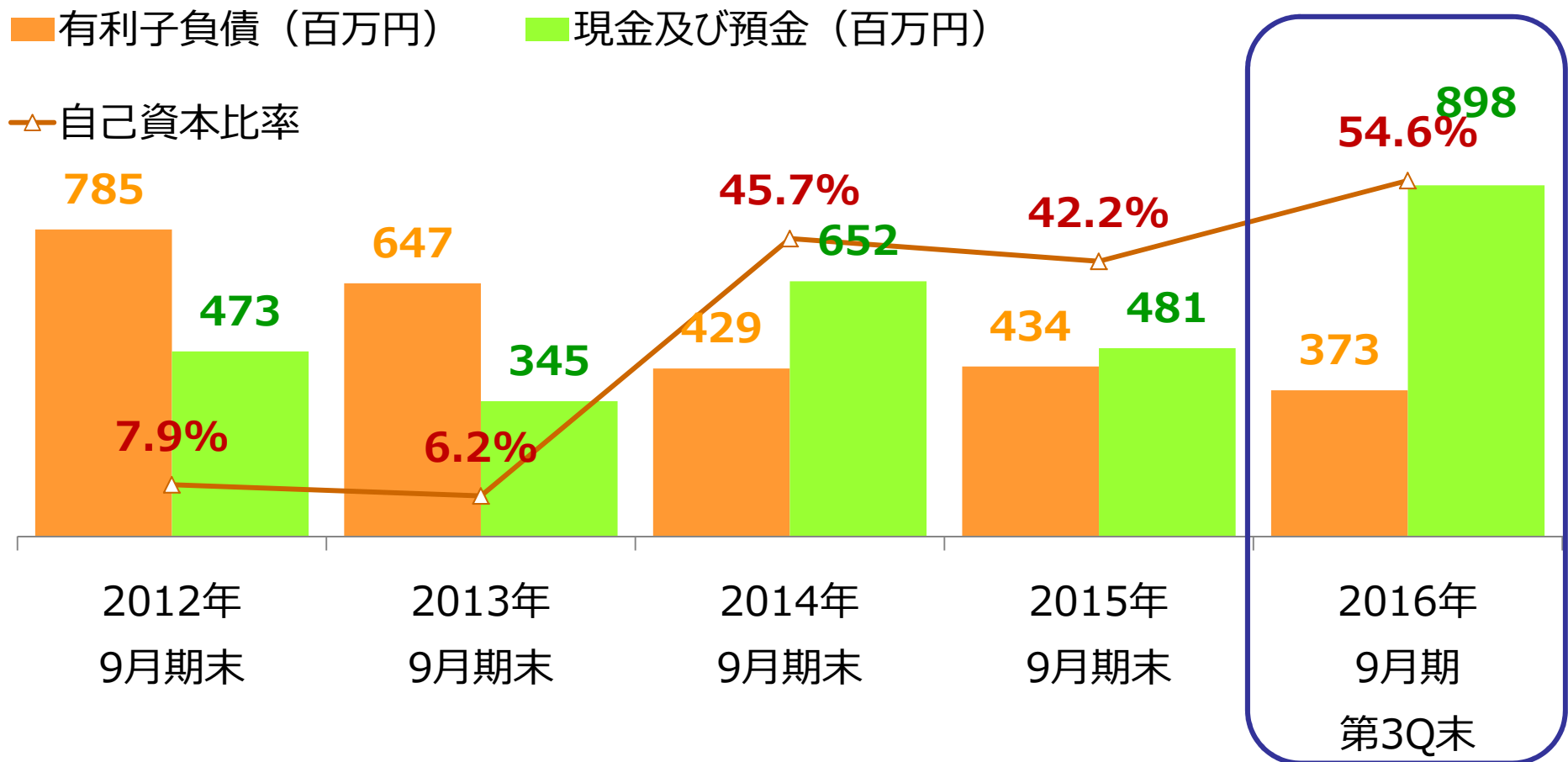
937百万円 ⇒ 1,343百万円

- 新株式および新株予約権の払込 (+453百万円)

- 四半期純損失 (△28百万円) 【6】



財務の状況



**実質的無借金経営を継続、増資により財務体質はさらに健全化
増資資金は、今後のM & Aに使用**

5ヶ年の実績

	2012年 9月期3Q	2013年 9月期3Q	2014年 9月期3Q	2015年 9月期3Q	2016年 9月期3Q
売上高 (百万円)	3,365	3,028	2,689	2,540	3,124
営業利益 (百万円)	13	△ 59	12	△ 123	△ 22
経常利益 (百万円)	4	△ 71	3	△ 127	△ 17
当期純利益 (百万円)	19	△ 190	△ 11	△ 147	△ 28
EPS (円)	0.25	△ 8.54	△ 8.33	△ 2.92	△ 0.53

※ 当社は2014年3月31日を基準日にして、普通株式を1株につき100株の割合で分割しており、上記EPSは分割後の株価を基に調整しております。

※ EPSは潜在株式調整前の数値です。

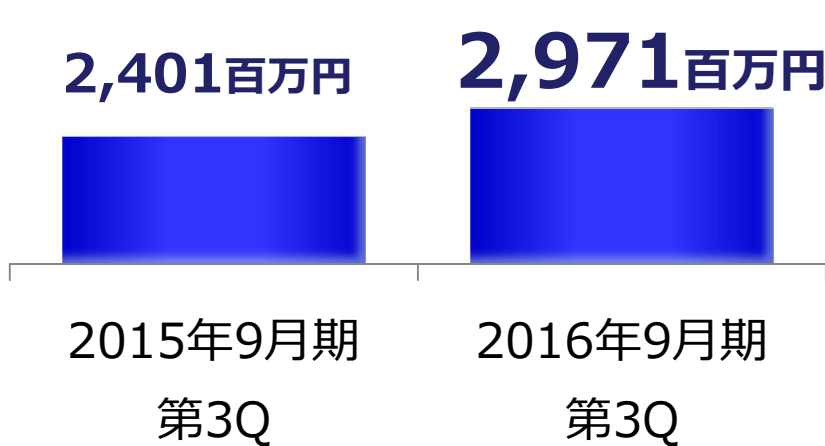


2016年9月期 第3四半期実績

情報通信事業



売上高



対前年同期比 123.7%

- 国内の情報通信事業は前年同期比 122.1%の増収。
直営店チャンネル、加盟店チャンネルともに増収
- 海外での情報通信事業も前年度19百万円から約2倍の38百万円
- 「Ret'sひかり」によるストック収益の積上げ (251百万円の売上)
- M&Aによりコスモ情報機器の売上が新たに寄与

営業利益



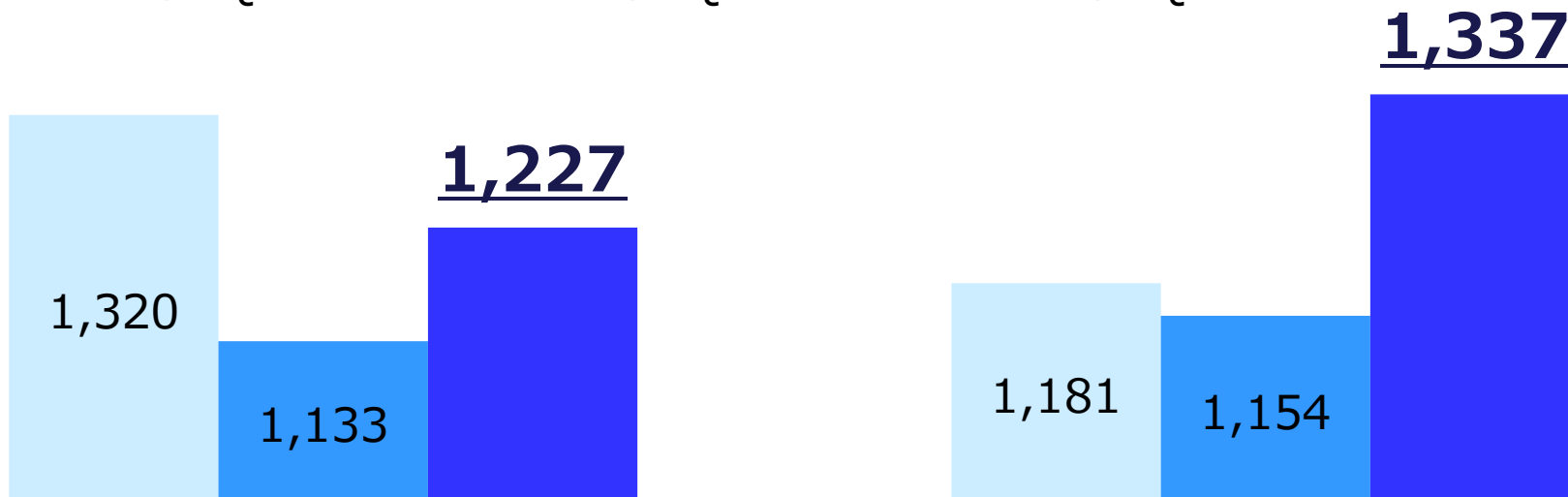
対前年同期比 +89百万円

- ⇒ Ret'sひかりやコスモ情報機器のストック収益を増加させることができたことが、事業部門の利益向上に寄与
- ⇒ オープスの外部工事が伸長したことにより収益性が改善



チャンネル別売上高

■ 2014年9月期 第3Q
 ■ 2015年9月期 第3Q
 ■ 2016年9月期 第3Q (単位：百万円)



直営店

対前年同期比
108.3%

前期第4Qに開始したデジタル複合機の販売プランが引き続き好調。Ret'sひかりによるストック収益の積み上げも寄与。(海外での情報通信事業売上38百万円を除いた比較)

加盟店

対前年同期比
115.8%

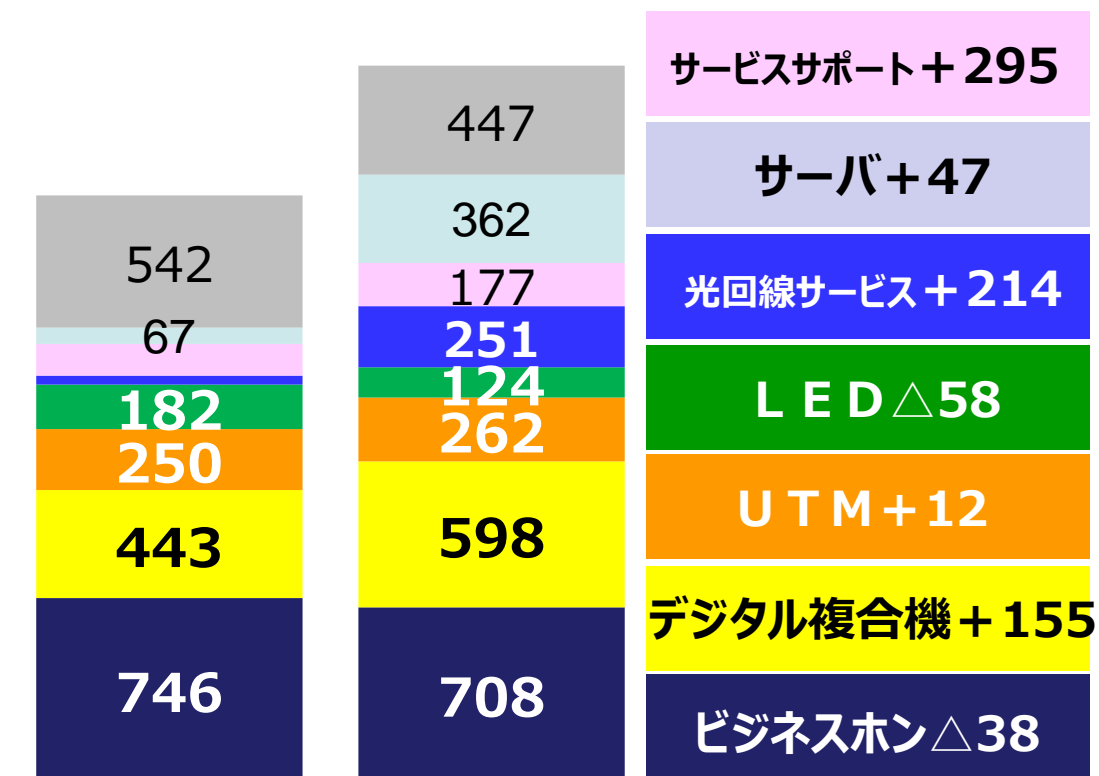
1店舗当たりの売上高向上と新規に3店舗開業したことにより、増収を達成し、2012年9月期以来の水準にまで回復

※上記以外に関連会社売上（242百万円）、代理店売上（125百万円）の計上あり



商品別売上高

(単位：百万円)



2015年9月期 第3Q 2016年9月期 第3Q

デジタル複合機は 135.0%と大幅増加

⇒ 2015年7月から開始した独自の販売プランが奏功

サービスサポートが順調に 拡大

⇒ オープスの外部工事受注が増加

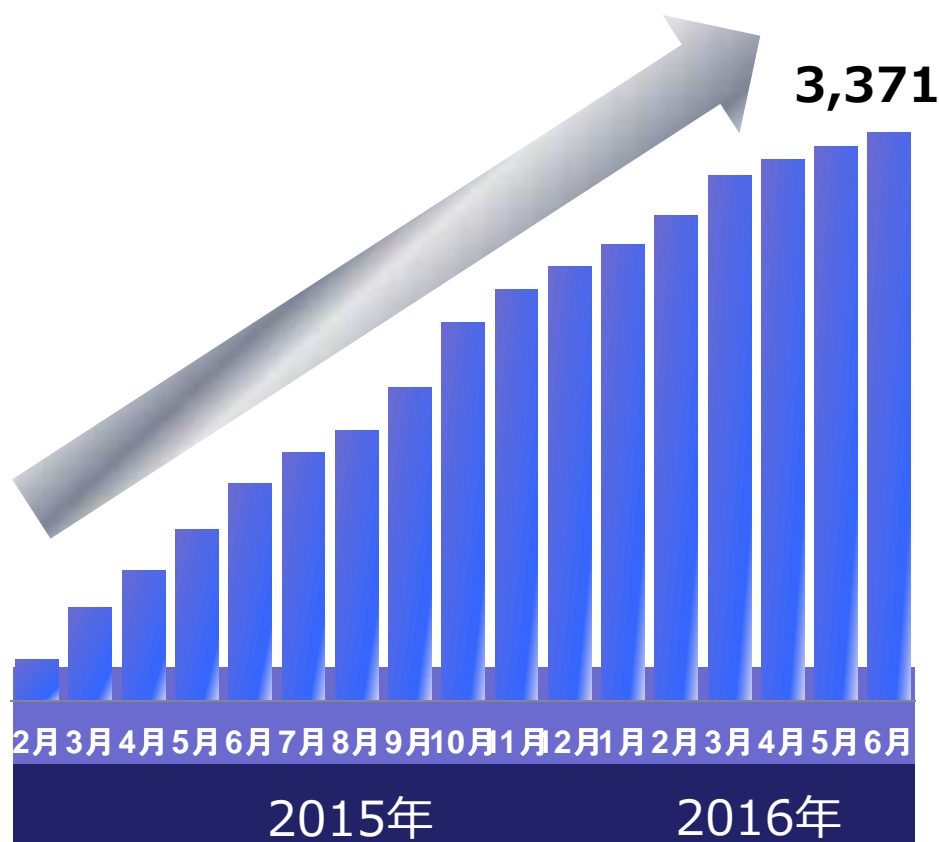
UTMおよびサーバが 好調に推移

⇒ マイナンバー対策のニーズに応える。

※別途海外での情報通信事業売上が38百万円

自社ブランド光回線サービス

「Ret'sひかり」 獲得回線数



- ▶ 2015年2月よりサービス開始
- ▶ 2015年7月には、プロバイダーサービスとのパッケージプランを開始
- ▶ 2016年6月末時点で3,371回線まで積み上げ、情報通信事業売上の9.1%まで拡大。
- ▶ ストック収益の柱として、引き続き注力

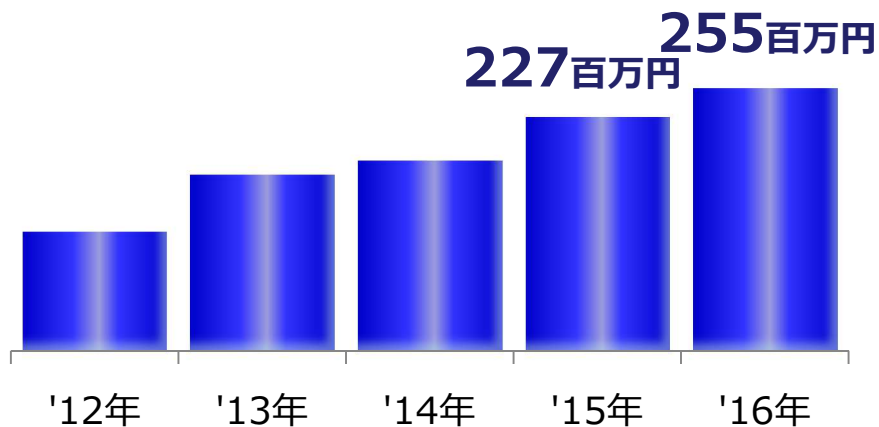


2016年9月期 第3四半期実績

BPO事業



売上高

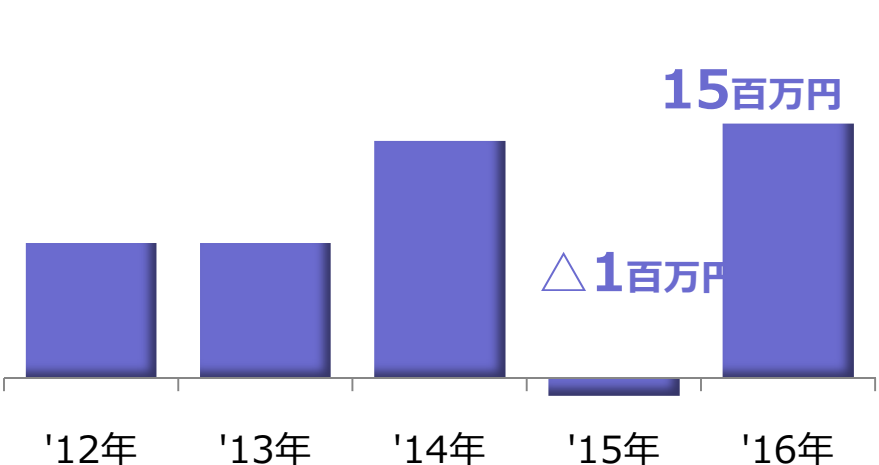


着実な増収
(対前年同期比112.3%)

- 新規業務の受託が拡大。
- 継続顧客売上高の積み上げが売上増に貢献。

※連結調整前数値

営業利益

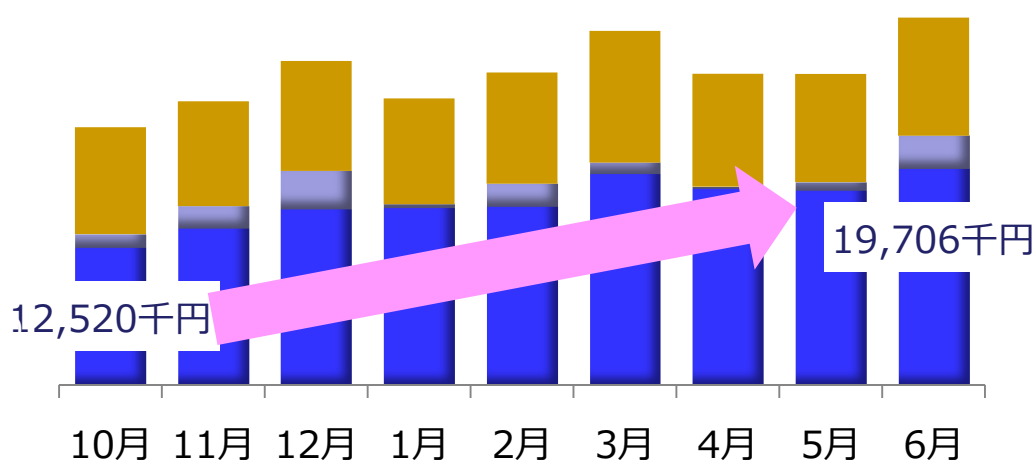


黒字転換

- 大連BPOセンターは、円高効果もあり、過去最高益を更新するペースで推移。



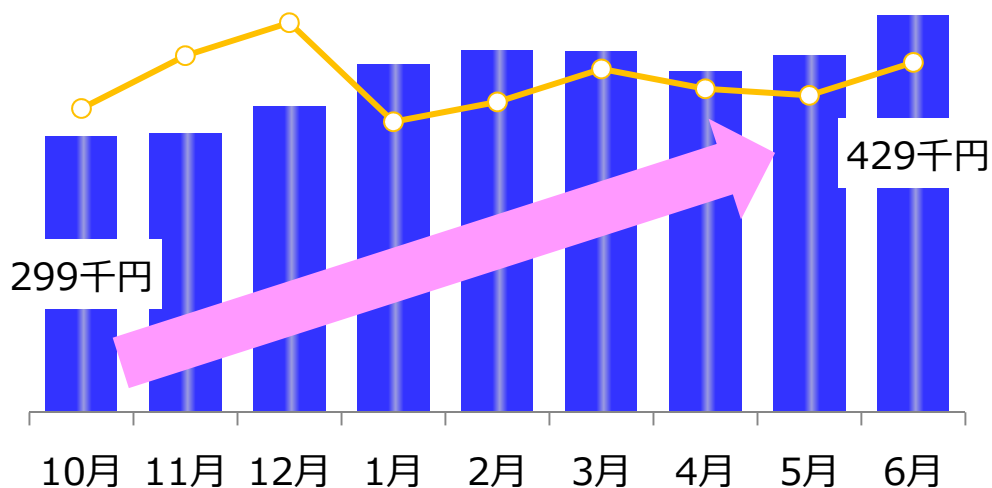
■ グループ内業務売上 ■ スポット業務売上 ■ 継続業務売上



【継続業務売上】

- 顧客の業務繁忙期により変動はあるものの**着実に増加中**
- 売上全体に占める比率も期初の53.3%から58.8%に増加し、**安定性が高まる。**

■ 1社あたり売上高 ○ 売上があった顧客数



【1社あたり売上】

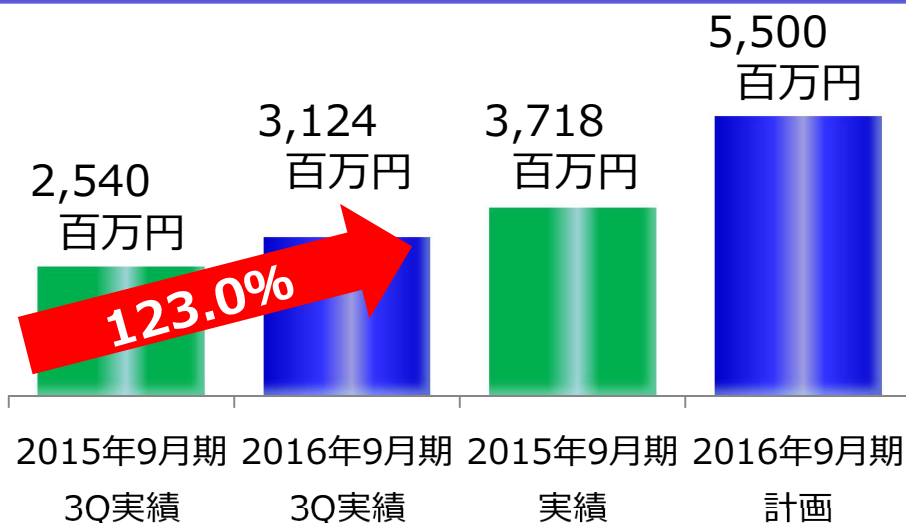
- 営業努力及び既存業務の業務品質が評価され、追加業務の複数受注が増加したため、**1社あたり売上が増加**



2016年9月期 通期業績予想

グループ連結

連結売上計画



- 3Q累計で売上高は前年同期比123.0%成長
- 前年度売上高3,718百万円から換算すると約4,600百万円のペース

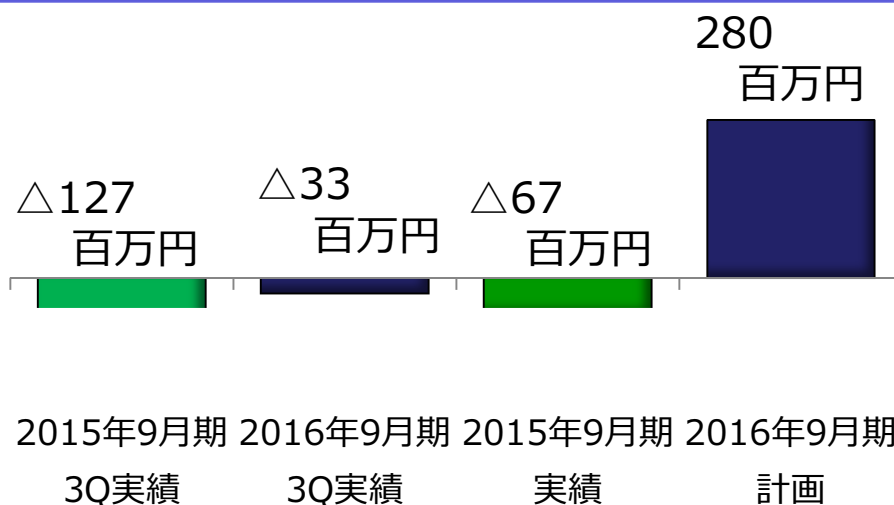


- 下記の施策を中心に売上高5,500百万円の達成を計画

1. 6月より参入した電力小売事業の推進
2. 好調なデジタル複合機販売の推進
3. 6月より開始したホームページ販売の推進
4. 4月より開始した中国・上海市でのLED照明販売事業の推進

など

連結経常利益計画



上記に加えて、メーカー・仕入先からの年間約定インセンティブを計上見込み



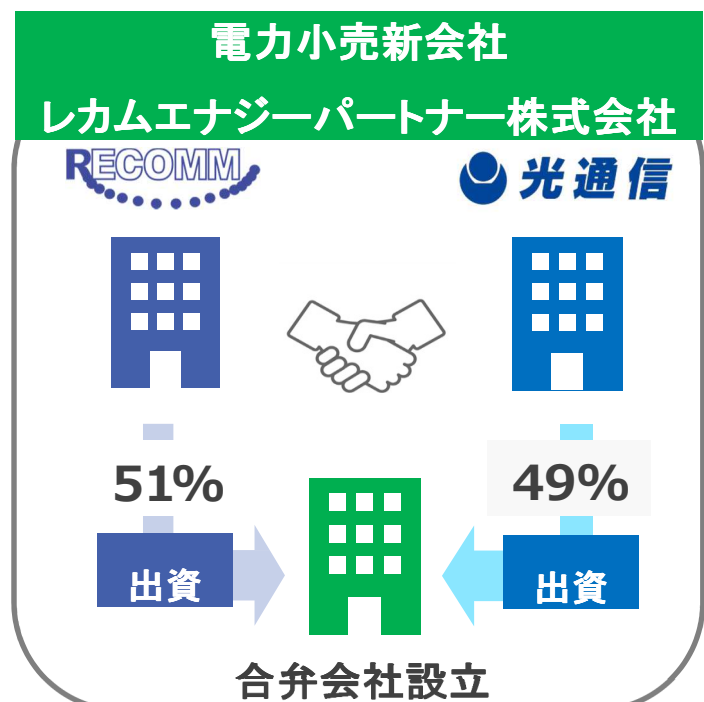
年間連結売上計画



電力小売事業への参入

2016年6月1日 レカムエナジーパートナー株式会社を設立

新規顧客開拓 & 国内情報通信事業とのシナジー



**新規顧客の開拓による
売上増加**

電力小売の提案を
きっかけに...



お客様企業

当社

- 3,000社超のRet'sひかり
導入顧客に低料金電力を
提案
- 低料金電力とLEDの
クロスセルを実施
- 電力販売先に各種情報通
信機器のアップセル提案

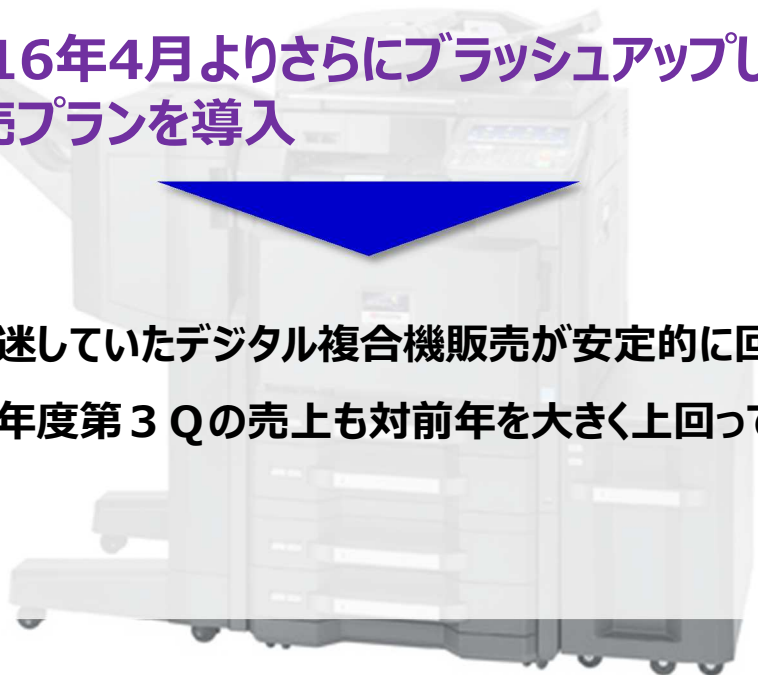
**既存事業との
シナジーによる売上増加**



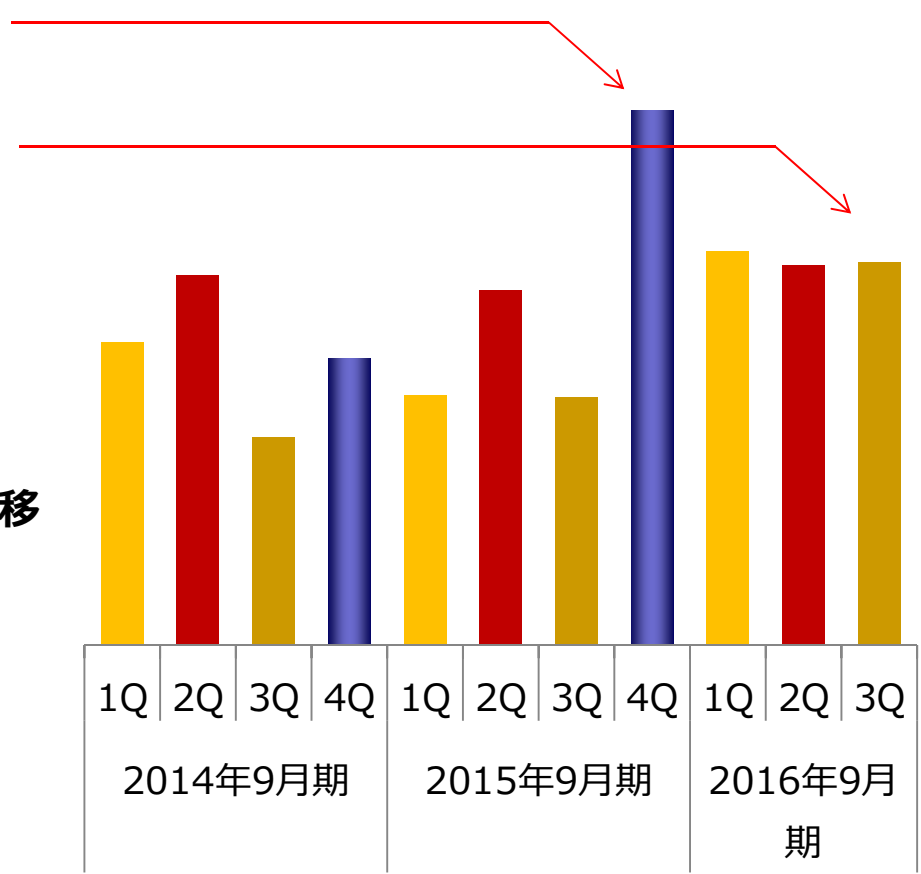
デジタル複合機販売

2015年7月に独自の販売プラン開始

2016年4月よりさらにブラッシュアップした販売プランを導入



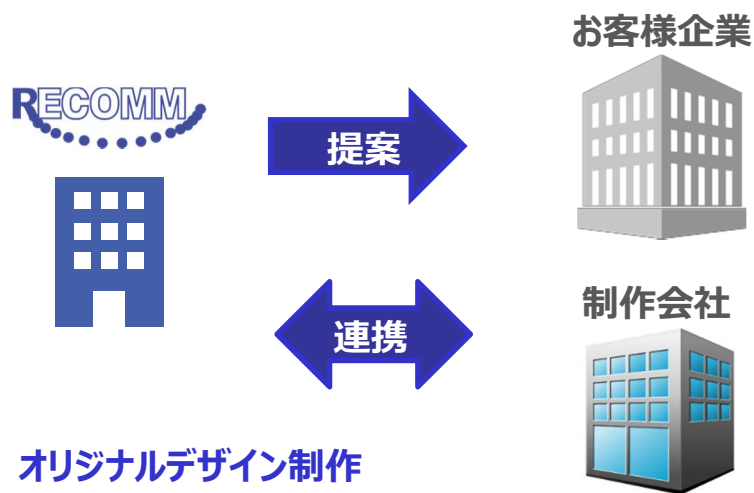
- 低迷していたデジタル複合機販売が安定的に回復
- 今年度第3Qの売上も対前年を大きく上回って推移





ホームページ販売

顧客を中心にホームページのリニューアルや新規導入提案を開始



✓ **オリジナルデザイン制作**

お客様の要望や嗜好に合わせて1つ1つオリジナルデザインを制作

✓ **レスポンシブデザイン**

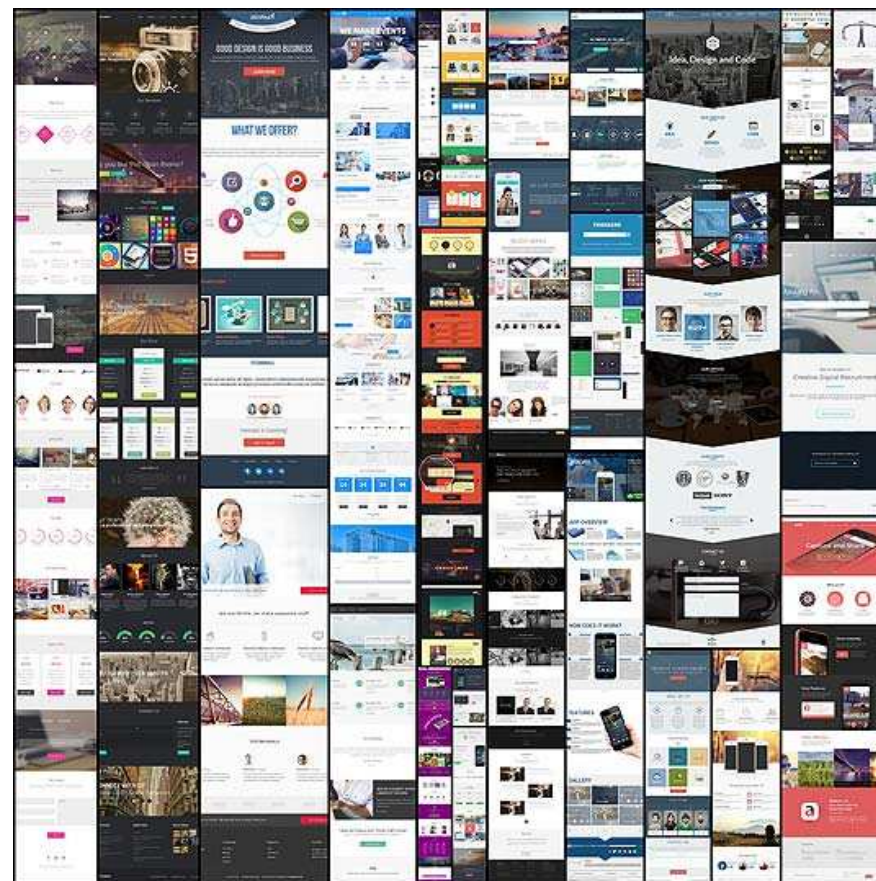
PC、タブレット、スマートフォンなどの複数の異なる画面サイズに合わせてページのレイアウトやデザインを柔軟に伸縮調整

✓ **独自ドメインサービス**

ドメインの取得手続きや既にお持ちのドメインを移行して利用可能

✓ **更新サポート無制限**

ひと月に何度でもご利用頂ける更新サポート



制作は協力会社と提携し、当社は提案営業に特化

中国でのLED事業の拡大

2015年10月より事業を展開している大連市に加え、**2016年4月からは上海市でLED照明販売事業を開始。**販売数量が増加したことから、**OEM製品による自社ブランド展開を開始。**

日系企業、特に工場へのLED照明導入を提案し、経費削減ニーズに応える。

日本と比べて蛍光灯使用本数の規模が大きいため、**国内に比べ大型案件の比率が高い。**

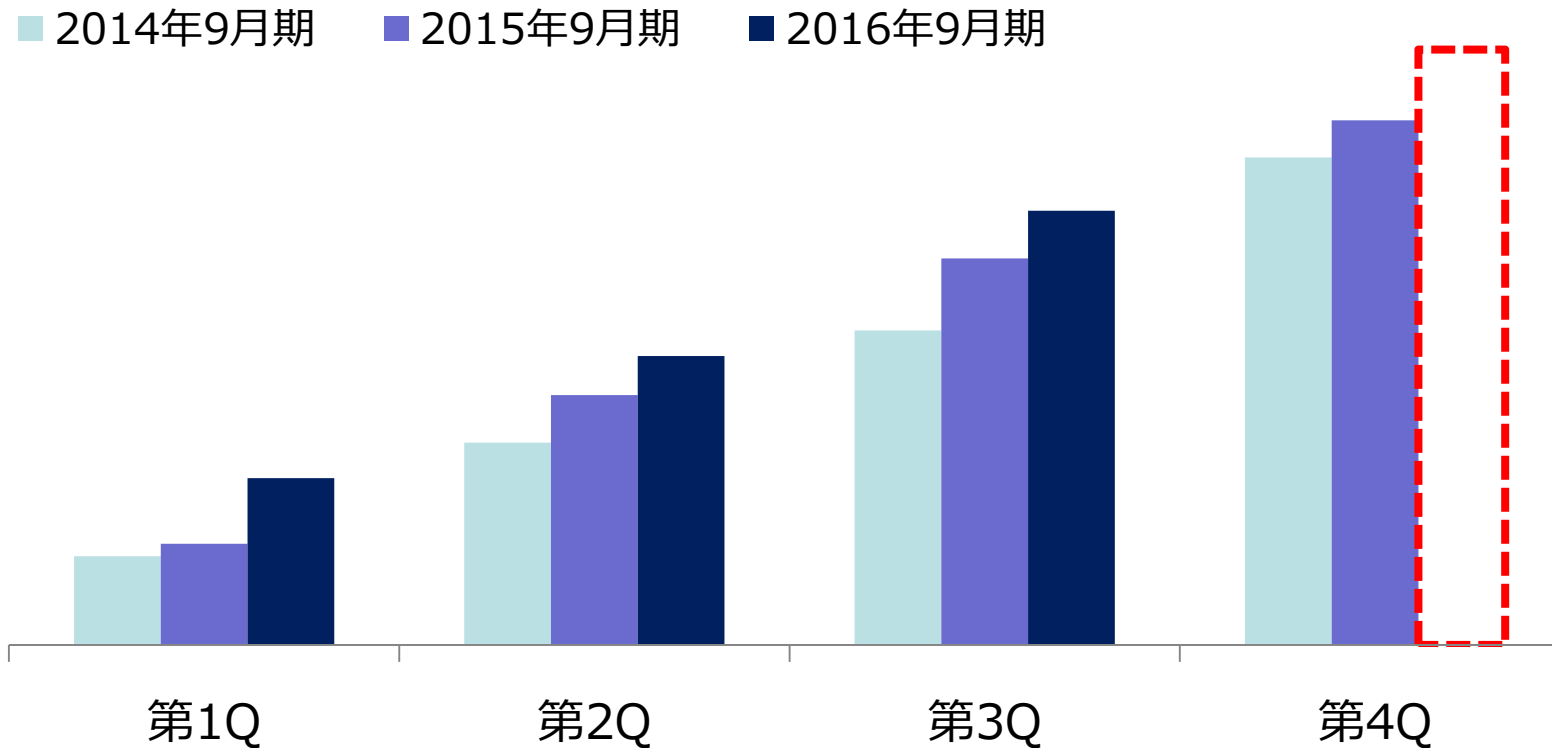


**中国日系企業進出数
13,200社**
※帝国データバンク「第3回中国進出企業の実態調査」より

**上海市日系企業進出数
9,747社**
※JETRO「上海市概況2016年7月」より

広大なマーケットである中国大陸において、事業の成長を目指す

BPO事業



BPO事業は各四半期で過去最高の売上を更新中

当期第4四半期も更新見込み



経営ビジョン

A & A 1 1 1 +

(Action & Achievement 「行動、そして達成」)

- 株主にとって投資リターン「No.1」
- 顧客にとって「オンリー 1」
- 業界で質量共に「No.1」
- 従業員にとって最も魅力的な
「Best 1」企業グループ

中期経営計画主要指標

(2015年9月期～2017年9月期)

- ◆ 営業利益5億円（2017年度）の達成
= 3年間で利益5倍を達成
- ◆ オフィスインフラ商材導入率100%の達成
- ◆ 営業マン1人あたり売上
業界No.1の達成（2017年度末）

**2017年度に中期経営計画を達成することにより
A & A 1 1 1 + を実現！**

- 本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しです。これらは、現在入手可能な情報を基に当社経営陣が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- 本資料は、株主・投資家等の皆様に当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- 情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるか等について一切保証するものではありません。また、掲載された情報またはその誤りについて、その理由の如何に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

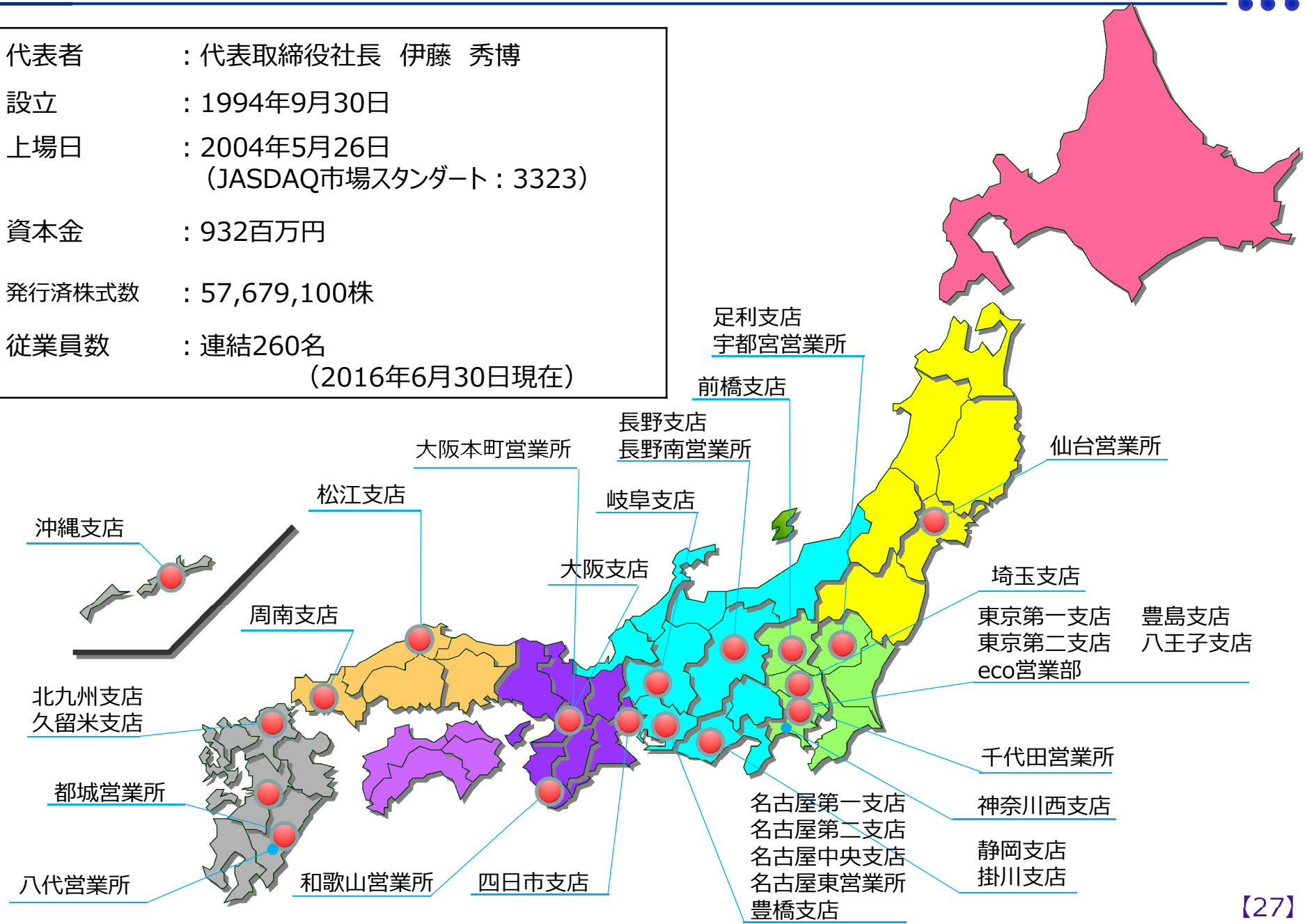
本資料に関する御問い合わせ

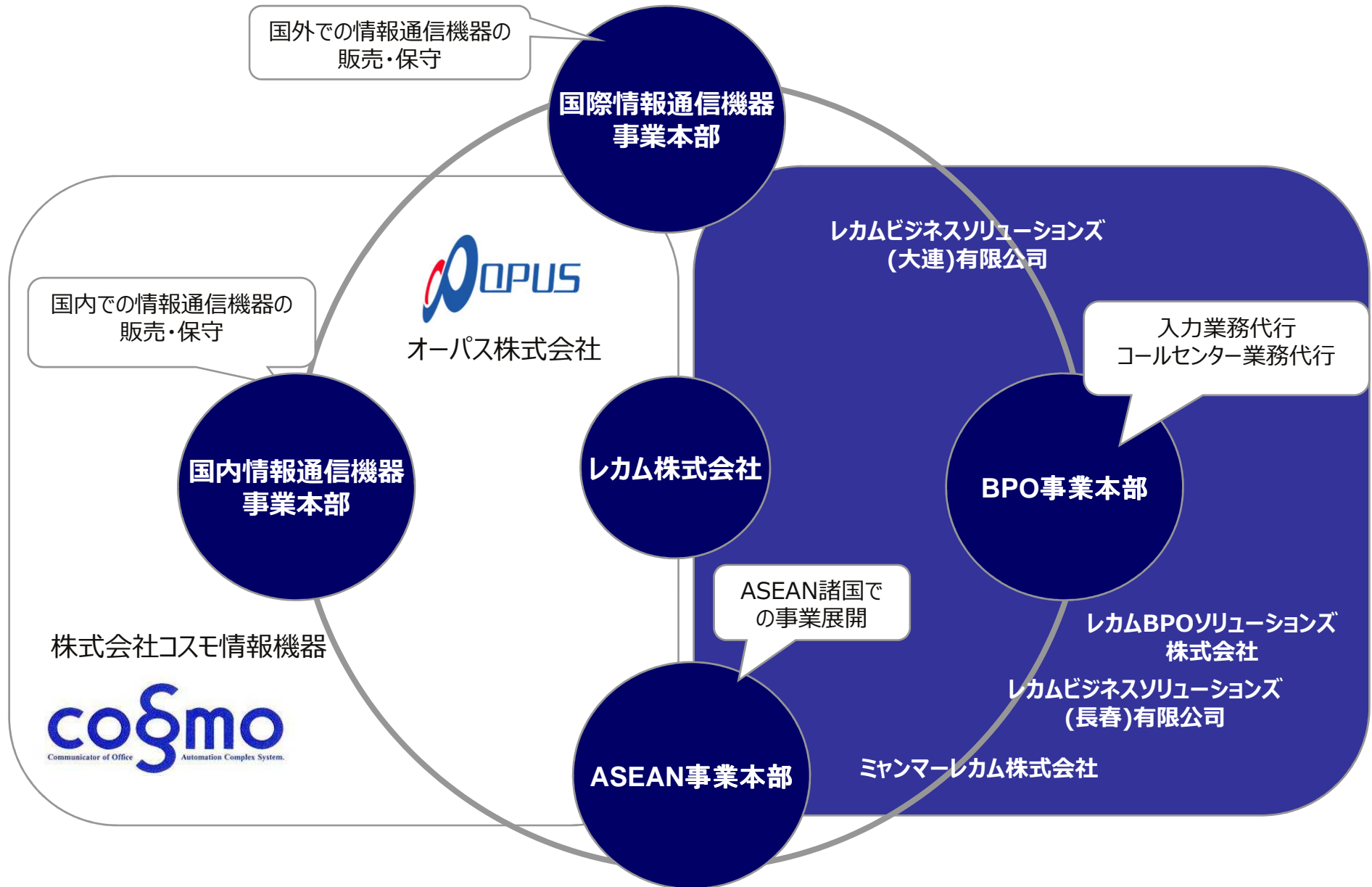
レカム株式会社 取締役経営管理本部長CFO 砥綿 正博
Email : ir@recomm.co.jp URL : <http://www.recomm.co.jp>

会社概要および拠点一覧



代表者	: 代表取締役社長 伊藤 秀博
設立	: 1994年9月30日
上場日	: 2004年5月26日 (JASDAQ市場スタンダード: 3323)
資本金	: 932百万円
発行済株式数	: 57,679,100株
従業員数	: 連結260名 (2016年6月30日現在)





1994	<ul style="list-style-type: none"> • 業界の常識を覆す営業のフランチャイズを展開する会社として設立
1995	<ul style="list-style-type: none"> • フランチャイズ加盟店 1 号店開業
2003	<ul style="list-style-type: none"> • 中国・遼寧省大連市に子会社大連レカム通信設備有限公司を設立し、B P O 事業を開始
2004	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪証券取引所『ヘラクレス』（現：東京証券取引所「JASDAQ」）に株式を上場
2012	<ul style="list-style-type: none"> • 中国・吉林省長春市に『長春レカム B P O サービス有限公司』を設立し、B P O 事業を拡大
2013	<ul style="list-style-type: none"> • B P O 営業に特化する会社として『レカム B P O ソリューションズ株式会社』を設立。
2014	<ul style="list-style-type: none"> • M&Aによりニューウェーブビジネスソリューションズ株式会社ならびに大連新涛服務有限会社を連結子会社化し、B P O 事業を拡大 • M&AによりH J オフショアサービス株式会社ならびに大連求界奥信服務有限公司を連結子会社化し、B P O 事業を拡大 • ミャンマー共和国・ヤンゴン市に「MYANMAR RECOMM CO.,LTD」を設立
2015	<ul style="list-style-type: none"> • 合併により、ヴィーナステックジャパン株式会社を設立。セキュリティ商品の卸売り事業に参入。 • レカムBPOソリューションズ株式会社がニューウェーブビジネスソリューションズ株式会社とH J オフショアサービス株式会社を吸収合併。 • M&Aにより株式会社コスモ情報機器を連結子会社化し、情報通信機器事業を拡大。 • 監査等委員会設置会社に移行 • 大連レカム通信設備有限公司が大連新涛諮詢服務有限公司と大連求界奥信服務有限公司を吸収合併
2016	<ul style="list-style-type: none"> • 邦英株式会社よりオフィス家具販売事業を承継 • 人工知能OCRを用いた画像認識サービスを展開するAI inside株式会社と業務提携 • Oakキャピタル株式会社に対して第三者割当による新株式および新株予約権を発行 • 大連レカム通信設備有限公司がレカムビジネスソリューションズ(大連)有限公司に社名変更。同時に上海支店を開設